

医療法人社団太公会 我孫子東邦病院

千葉県我孫子市

設計・監理／ゆう建築設計
施工／松井建設



南側外観 濃灰色を基調とし、小庇の水平ラインによってモダンなホテル調の病院外観計画

老朽化に伴う移転新築と新たな病院設計方針
長年、我孫子市の地域医療を支えてきた我孫子東邦病院は、建物の老朽化により現病院から約2km圏内に位置する、旧水戸街道沿いの高台に、耐震性と地域医療の継続のために移転新築された。

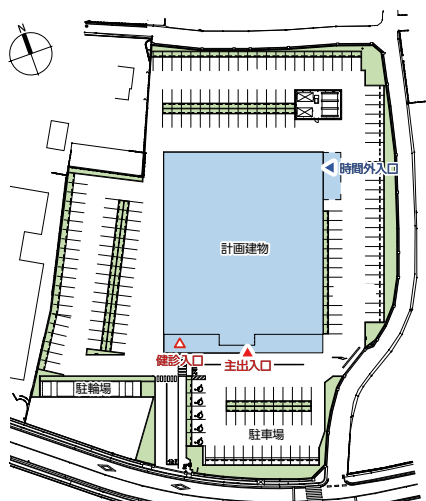
ホテルライクな穏やかな医療空間

本計画の設計コンセプトの核となったのは、患者が少しでも前向きな気持ちで治療期間を過ごせる環境づくりである。理事長の「病院生活をホテル滞在のように快適にしてほし

い」という想いを受け、外観・内装ともに「ラグジュアリーモダン」デザインを採用した。従来の医療施設のイメージを払拭しつつ、医療の場として不可欠な清潔性、安全性を確保したうえで、通院や短期入院といった心身に負担の大きい時間を、明るく穏やかなものに変えることを目指した。待合や廊下、病室などの共用空間には、素材感・照明・色彩計画を丁寧に落とし込み、患者・家族・スタッフが安心して過ごせる「穏やかな医療空間デザイン」とした。

腎・泌尿器科医療の専門病院として

同院は泌尿器・腎疾患を中心とした専門医療を担い、ロボット支援手術や透析にも幅広く対応している。本計画では、それらの高度医療を支える機能性の確保、感染対策、患者目線の快適性を両立した病院設計とした。特に人工透析室では、長時間の透析治療を受ける高齢者や寝たきりの重度透析患者にとって、誰もが安心して透析治療を受けられる快適な治療環境を整えている。



配置図 縮尺1/2,000



南側外観夜景

— 手術部門の強化

— リハビリ部門の強化

▽4階.....

透析室	スタッフステーション	病室
-----	------------	----

▽3階.....

病室	スタッフステーション	病室
----	------------	----

▽2階.....

管理部門	手術部門
------	------

▽1階.....

内視鏡	放射線	外来
-----	-----	----

断面図

— 透析部門の強化

感染対策

各病棟では閉鎖病棟管理を採用し、入院患

(河津孝治、西村寿々美／ゆう建築設計)



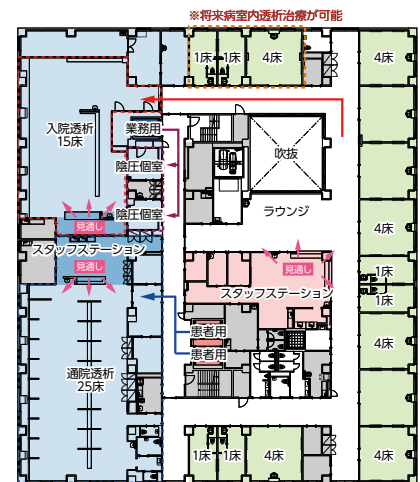
1970年京都府生まれ。京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科卒業、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科博士前期課程修了後、ゆう建築設計入社。現在、同社取締役副社長



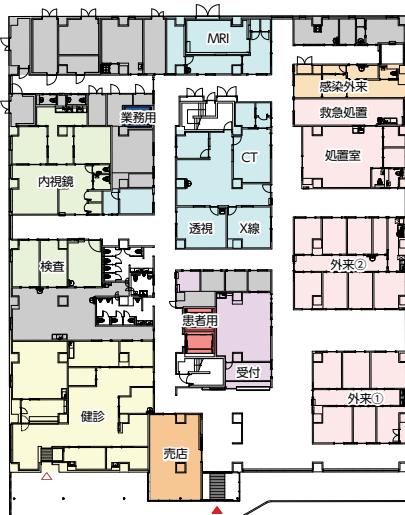
1997年千葉県生まれ。日本大学理工学部海洋建築工学科卒業、2022年日本大学大学院理工学研究科海洋建築工学専攻博士前期課程修了、同年ゆう建築設計入社



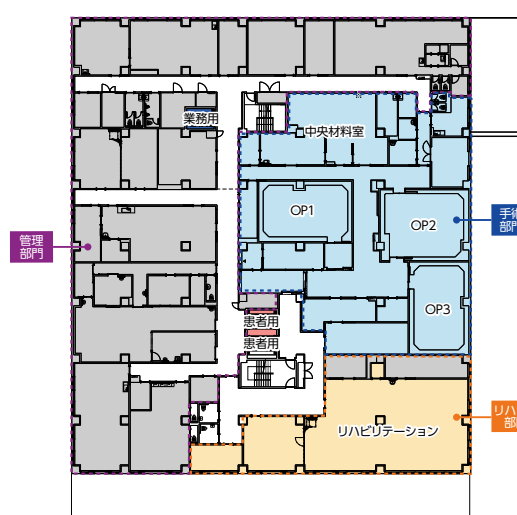
左/1階総合受付・待合ロビー 右上/1階診察待合 患者にわかりやすい各待合サインデザインの採用
右下/1階健診受付・待合 ラグジュアリーな雰囲気を意識した設え



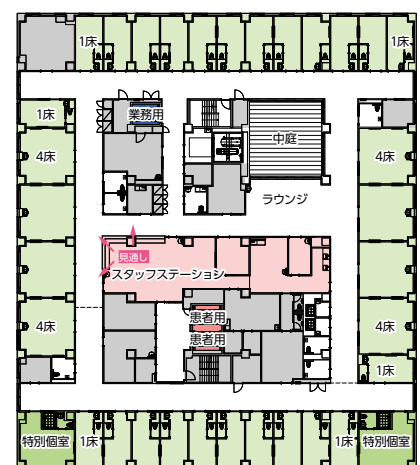
4階平面図



1階平面図 縮尺1/800



2階平面図



3階平面図



快適な空調システムの採用とプライバシーに配慮した透析室



中庭に面した明るく開放的な病棟ラウンジ



日常の医療業務からリフレッシュできる職員休憩室



ラグジュアリーデザイン採用の特別個室

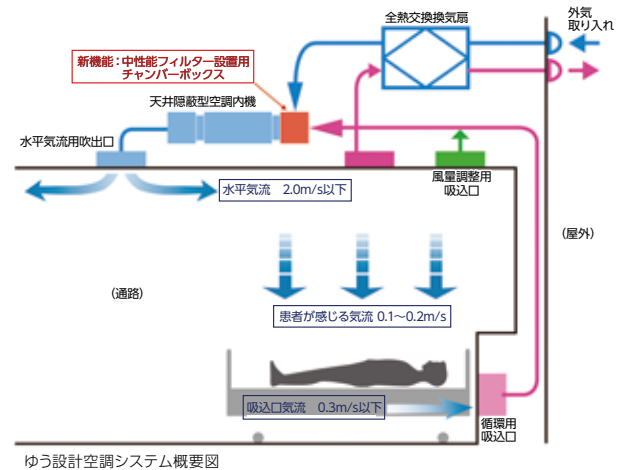


スタッフステーション

快適な透析治療環境のために 「ゆう設計空調システム」の採用

長時間の透析治療では、血圧変動が大きい透析患者にとって、特に夏場の空調による「局所的な気流（ドラフト）」が不快感を与える要因となる。本計画では、快適な透析治療環境を実現するため、独自に考案した「ゆう設計空調システム」を採用した。一般的な天井埋込カセット形空調が速い風を吹き出すことで遠くまで風を送るのに対し、本システムは独自の設計指標に基づき、風速を抑えた水平気流を天井に沿

って吹き出す方式である。これにより部屋全体に風を拡散し、ベッド上に風が到達するときには患者が不快に感じない空調環境を実現している。さらに、吹き出した風を循環させることで透析室全体に均一な空調を行き渡らせ、室内環境の均質化を図っている。ただし、暑さ・寒さの感じ方は個人差があるため、風の通り道では「局所的な気流（ドラフト）」を感じさせないよう風量（風速）を微調整。完成時には風量測定を行い、最適な環境を確認している。



ゆう設計空調システム概要図

医療法人社団太公会 我孫子東邦病院 データ	
所在地	千葉県我孫子市柴崎122-1
主要用途	病院
建築主	医療法人社団太公会
設計・監理	ゆう建築設計
担当／総括	河津孝治 建築：河津孝治、西村寿々美
構造	福井建築設計事務所
構造担当	福井弘司、中川幸洋
設備	幹設備設計事務所
電気設備担当	井手博幸、仲野理香子
機械設備担当	倉内勝昭、山岡大悟
施工	松井建設
担当／建築	小室直人、石井健雄、中村佳史、國村優貴、西條陸希
設備	五十嵐稔
設計期間	2022年6月～2023年9月
工事期間	2024年4月～2025年8月
【建築概要】	
敷地面積	8,316.51㎡
建築面積	2,317.60㎡
延床面積	8,189.80㎡
建ぺい率	27.87%（許容60%）
容積率	96.38%（許容200%）
構造規模	RC造一部S造 地上4階、塔屋1階
最高高さ	20.05m

軒高	17.27m
駐車台数	176台
地域地区	市街化調整区域、法22条区域
【病棟概要】	
診療科目	全16科
内科、呼吸器内科、循環器科、腎臓内科、消化器内科、血液内科、外科、消化器外科、脳神経外科、泌尿器科、泌尿器科（男性不妊）、婦人科、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科	
病床数	全100床
個室30室、特室個室2室、4床室17室	
1床当延床面積	81.898㎡
病棟基準階面積	1,951.85㎡
1床当病棟基準階面積	33.65㎡
【設備概要】	
電気設備	受電方式／1回線受電 高圧：三相3線式6kV 低圧：三相3線式210V、単相3線式105/210V、屋外キュービクル 変圧器容量／2,425kVA 予備電源／非常用ディーゼル自家発電機500kVA×1台、軽油タンク、給油システム
空調設備	空調方式／外調機＋空冷HPパッケージエアコン 全熱交換器＋空冷HPパッケージエアコン 熱源／空冷HPパッケージエアコン方式
衛生設備	給水／加圧給水方式 給湯／中央方式：ガス瞬間式給湯機 個別方式：電気温水器 排水／浄化槽方式、

透析排水処理槽 雨水：雨水貯留槽へ集水後、雨水本管に接続
防災設備 消防／スプリンクラー設備、屋内消火栓設備（補助散水栓） 排煙／自然排煙、機械式排煙 その他／自動火災報知設備、火災報知設備、非常放送設備、非常照明設備、避難器具、誘導灯設備
昇降機 寝台用（15人乗）×2基、人荷用（11人乗）×1基

撮影／川澄・小林研二写真事務所 船来洋志

協力会社	
電気設備工事	中央電気工事
空調・給排水衛生設備工事	きん で ん
鉄骨工事	大津鉄工
鉄骨階段工事	横森製作所
ガラスウール貼り工事	徳永産業
内装仕上工事	榊原商店
サイン工事	昭和工芸
MRI工事	技研興業
空冷HP式立形ルーフトップ外調機	木村工機
外構工事	日本道路